

➤ 18日 土曜

I サムエル



24:16 ダビデがこれらのことばをサウルに語り終えたとき、サウルは「これはおまえの声なのか。わが子ダビデよ」と言った。サウルは声をあげて泣いた。

24:17 そしてダビデに言った。「おまえは私より正しい。私に良くしてくれたのに、私はおまえに悪い仕打ちをした。」

24:18 私に良いことをしてくれたことを、今日、おまえは知らせてくれた。【主】が私をおまえの手に渡されたのに、私を殺さなかったのだから。

24:19 人が自分の敵を見つけたとき、その敵を無傷で去らせるだろうか。おまえが今日、私にしてくれたことの報いとして、【主】がおまえに幸いを与えられるように。

24:20 おまえが必ず王になり、おまえの手によってイスラエル王国が確立することを、私は今、確かに知った。

24:21 今、【主】にかけて私に誓ってくれ。私の後の子孫を断たず、私の名を父の家から消し去らないことを。」

24:22 ダビデはサウルに誓った。サウルは自分の家へ帰り、ダビデとその部下は要害へ上って行った。

「サウルは声をあげて泣いた」とあります。彼の感情的にはいつわりはありませんでしたが、後にはやはりまたダビデを殺そうと攻撃しました。感情は人の心を動かしますが、多くは一時的なものです。涙だけでその人の本質を判断するのは早計です。

サウルは涙ながらに正しいことを言っていますから、心から変わったかのように見えますが、実際には聖霊による変化ではなかったのです。一時の感情の変化で人が変わるものでもなく、また自分自身も

変わったのではないと知るべきです。本当の変化は聖霊によるものです。聖霊さまが働いて、聖霊様に従っているのかどうかを、吟味しましょう。

聖霊様は神のことばである聖書によって、また聖書に沿って働かれます。要は主との交わりです。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？

